

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	IV 38	現在、コロナ禍のため外出機会、レクリエーション等の場において、制限せざるを得ない状態であり、入居者様の楽しい生活としいに生活が少なくなっている。	お一人お一人が「すこやか」で、個々のペースで楽しく生活と生活に慣れること、レクリエーションやアクティビティの充実を目指す。	施設内の生活が多岐にわたるため、楽しみやすいレクリエーション、アクティビティ、クラブなどを考え、計画的な活動に必要な小物づくりなども行う。	5ヶ月
2	IV 41	食料量、水分量の把握は出来ているが、摂取量が十分に取れていない方が多くなっている。拒否も見受けられている。	バランスの取れた栄養、水分の摂取を促すよう支援し、健康と体調の改善を目指す。	栄養士のアドバイスを渡し、個々の身体状態に合わせた食事、おやつを提供する。	6ヶ月
3	III 35	地震対策等の災害が全国各地で多くおこる中、令和2年度は地震の方と共に防災意識を高め、避難訓練の機会を増やし、避難訓練は実施出来たが、実際に物に当たるという課題が引き続き発生している。	地域の方と共に防災訓練を実施。備蓄の確認、確保を行う。	コロナ収束に当たっては、7階建の岩波ウイング（43戸）に実際に避難訓練を実施し、避難誘導と地域の方の協力を得る。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。